

秋晴の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
コミュニケーション活動の一環として会員各位の相互理解をより一層深める一方策として、平成26年度から企業訪問を開始しております。
企業訪問を通じて、会員相互の理解活動に少しでも貢献できればと思います。
今回は9月下旬に熊谷組さんを訪問しました。皆さんが廃炉に向け現場作業に取り組まれている状況を報告いたします。



株式会社熊谷組
東北支店 福島原子力対策部 第一工事所

斎藤工事所長から一言



当社が福島第一原子力発電所の工事に携わってから、今年で51年目となります。ここまで、作業所を閉じることなく存続できたことは、企業協議会様とその会員各社様のご指導があつてのものと感じ申し上げます。
引き続き廃炉作業完了に向け、心ひとつに、安全最優先で進めてまいり所存ですので、これからもよろしくお願いいたします。

橋本工事所副所長から一言



当作業所の安全担当をしております。
「安全は手順、決め事を必ず実行すること」机上でいくら良いことを決めても現場でやりきることが大事。
私は、30年以上、福島第一、第二原子力発電所で仕事をしてきましたが、今後とも安全第一で安全管理を進めてまいります。

福一の安定化・廃炉作業へ向けた取り組み状況

B/C系排水路及びK系排水路



1F構内排水路（B系/C系/K系）において、汚染した雨水が直接外洋に排水されることを防止するため、排水先を港湾内に付け替える工事を実施しました。

G1南エリア完成型タンク輸送路拡張整備工事



G1南エリア他において、新たに設置するタンク搬入のため、道路拡張整備工事を施工しています。

ガレキ一時保管施設設置工事



無人化施工にて高線量のガレキ処理を行なっています。

寄せ書き



会議室には、全国の支店から届いた、激励の寄せ書きが飾ってあります。

コミュニケーション活動



年2回 安全週間最終日に広野事務所において安全表彰及び、懇親会を開催しております。

協議会訪問

今回熊谷組さんを訪問した際のスナップ写真です。斎藤所長、橋本工事所副所長様より現場作業への取組や安全対策、コミュニケーション活動等について、写真などを見せて頂きながら説明して頂きました。排水路の付け替えやガレキ一時保管施設の設置等、廃炉作業に色々と貢献されている様子をお聞きしました。安全活動についても作業者の皆さんとのコミュニケーションを良く取って活動されているとのことでした。
お忙しいところご対応頂きありがとうございました。



編集後記

今回の発刊に当たり、幹事の西さん他関係者の方々には大変お世話になりました。熊谷組さんは、震災後から1Fの廃炉作業に携わってこれ、多種多様な復旧作業に対応されてきました。ありがとうございます。
企業協議会では少しでも皆様のお役に立てるように頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。

発行責任者：事務局長 日熊 征郎
TEL：0240-23-6940
FAX：0240-23-6942

次回(15回)の企業訪問は、安藤・間さんへ伺う予定です。